



横浜市立西が岡小学校 泉区西が岡 3-12-11 Tel 814-3603
<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka/>



10月は年度の折り返し地点

校長 佐藤 裕二

早いもので、令和5年度も半分が過ぎました。学校では、10月は前期から後期にかわる節目の月となります。3学期制の学校は、学期の間に夏休みや冬休みなどの長期休業を挟みますが、2学期制では、10月6日(金)に前期終業式を行い、土日、祝日(スポーツの日)を挟んで10月10日(火)には後期始業式となります。ですから、通常の週末と同じような感覚で過ごしてしまいがちですが、子どもたちにとっては1年間の折り返し地点として、大切な節目として捉えてほしいと願っています。

前期は、新しい仲間と一緒に学級づくりをし、しっかりと土台を固めていく時期です。新しい学年に進級した喜び、新1年生を迎えて新たな役割を自覚した子どもたちも多かったのではないのでしょうか。そして、学級や学年での活動のほか、たてわり活動、愛川宿泊体験学習や日光修学旅行などの体験的な活動を通して、仲間意識を高め、人間関係の構築や合意形成の大切さを学んできました。

後期は、それらの経験をもとにして、さらに深化、発展させていく時期になります。10月の運動会から始まり、遠足や社会科見学、区音楽会(3年生)に作品展、個別支援学級(5組)については区合同宿泊学習や区合同学習発表会なども予定されており、1年間のまとめへと向かっていきます。

後期の学校生活をより充実させ、大きく成長していくためにも、この10月の折り返し地点が重要なポイントとなります。前期の活動や学びをしっかりと振り返り、自らの成長を感じつつ、今後の目標や課題を見つけていくことで、大きく深化、発展していく後期につながっていくと思っています。7月の個人面談の内容や前期末にお渡しする「あゆみ」をもとに、お子様がこの前期に頑張ってきたこと、できるようになったこと、伸びてきた力について大いに認め、さらにステップアップしていくための見通しについて、ご家庭でもぜひお子様と話してみてください。

<児童支援専任より>

8月28日(月)、「横浜子ども会議・泉区交流会」に本校を代表して6年生児童が参加しました。交流会においては、まず領家中、鳥が丘小と本校それぞれの「いじめの未然防止のためにできること」を発表しました。本校としては、①いやな思いをする場面理解の劇、②心配事を投函できる「安心BOX」の設置、③児童の素敵な行動を伝え合う「キラキラさん」の発表、④いじめ防止のポスターの制作、⑤いじめ防止かるとの作製、を行うことを伝えました。ブロック全体としては、「嫌な気持ちを先生や大人に相談することの大切さを学ぶYP(横浜プログラム)」を3校で行い、いじめの未然防止に取り組んでいます。ご家庭におかれましても、児童の取組へのご理解とご協力をお願いいたします。